

\\ 笑顔とがんばりの町 //

広  
報

# おのまち

2022

10

No.716







お祭りで買った好きな食べ物をお友達と木陰でパクリ。  
10月2日に行われた小野町おまつり会には多くの人が集まり、にぎわいをみせていました。

写真：山田淳輝  
(地域おこし協力隊)

広報おのまちは



iOS用



android用



で配信中!

- 02 INDEX
- 03 全国大会出場者激励金交付／柔道の県大会で優勝！全国大会へ
- 04 少年の主張県大会最優秀賞受賞／小野町令和5年二十歳の集い
- 06 3歳児よい歯の表彰／小野町事業所支援給付金
- 07 おのまち認定こども園通信
- 08 公民館だより
- 09 小野高通信
- 10 ご寄付のお知らせ／町民グラウンド・ゴルフ大会開催
- 11 市町村対抗福島県軟式野球大会／小野町戦没者追悼式
- 12 小野高校統合に関する今後の取り組み
- 14 おのまち地域おこし協力隊活動記
- 15 ふるさと文化の館・公民館情報
- 16 お知らせ
- 18 インフルエンザ予防接種費用助成のお知らせ
- 19 町税等納期のご案内・国民年金コーナー
- 20 みんな笑顔で健康づくりコーナー
- 21 地域包括支援センターからのお知らせ
- 22 公立小野町地方総合病院からのお知らせ
- 23 夜間診療所当番医・休日当番医
- 24 各種健診・教室日程
- 25 食品放射能測定結果／上水道水質検査結果／お誕生日おめでとう／おくやみ申し上げます／町の人口・世帯数
- 26 小町ふれあいフェスタ開催のお知らせ

マイナポイントを受け取るために必要なマイナンバーカードの申請期限は、12月末までとなります。

第2弾

マイナンバーカードで  
**マイナポイント**

最大

**20,000**円分の  
**マイナポイント**がもらえる!

お好きな  
キャッシュレス  
決済サービスで  
使える!

マイナンバーカードを取得することなどで、最大2万円分のポイントが受けられる「マイナポイント第2弾」について、政府は、ポイントを受け取るマイナンバーカードの申請期限を9月末から12月末まで延長しました。役場の窓口において、無料で写真の撮影を行い(事前予約制)、マイナンバーカードの申請受付を行っていますので、この機会にぜひ、マイナンバーカードを申し込んでみませんか。



問 町民生活課 ☎72-6933

## ● ● ● 小野町の中高生が全国へ！ ● ● ●



### 全国大会出場者激励金交付

全国大会の出場者に対し、小野町文化・体育振興基金から激励金が交付されました。

ご努力に敬意を表し今後ますますのご活躍を期待申し上げます。各大会への出場者は次のとおりです。(敬称略)

- 日本トリムPresents第14回全国女子選抜フットサル大会  
草野理子(小野中学校1年)
- 第77回国民体育大会いちご一会とちぎ国体ボート競技(女子舵手付クォドルプル)  
草野 優(田村高等学校2年)
- 第77回国民体育大会いちご一会とちぎ国体陸上競技(砲丸投げ・やり投げ)  
根本穂波(日本大学東北高等学校3年)



左から副町長、町長、草野理子さん、草野優さん、教育長



左から町長、根本穂波さん

## 小野中 通信 junior high school

## ● ● ● 柔道の県大会で2人が優勝！ 全国大会へ ● ● ●

7月22日から鶴ヶ城体育館(会津若松市)で開かれた福島県中学校体育大会柔道競技の個人戦で吉田翔海さん(小野中50kg級)と村上梓竜さん(小野中55kg級)が見事優勝し、吉田翔海さんは次の東北大会でも優勝しました。

8月21日から須賀川アリーナで開かれた全国大会にも、吉田翔海さんと村上梓竜さんの2人で出場し健闘しました。今年2年生の2人は今後の活躍がますます期待されます。



さらなる高みを目指して



## 第44回少年の主張福島県大会

# 黒田彩未さん 少年の主張県大会 最優秀賞受賞

少年の主張福島県大会で黒田彩未さん(小野中3年)が「子どもが主張できる場所を」と題して発表し、見事最優秀賞に選ばれました。

大会は福島県青少年育成県民会議の主催により開催され、各市町村の青少年育成会議より推薦のあった中から作文審査を通過した16名が9月22日、南会津町の御蔵入交流館において発表を行いました。

黒田さんは全国大会に向けた北海道・東北ブロックでの選考に進むことになりました。

黒田さんの栄誉をたたえ、作文の全文を左ページにご紹介します。



小野町立小野中学校 3年 黒田彩未さん あやみ

## 小野町 令和5年 はたち 二十歳の集い 開催

民法の改正に伴い、令和4年4月1日から成人年齢が20歳から18歳に引き下げられました。

町では、18歳を対象として成人式を開催する場合、受験や就職の時期と重なり、精神的・経済的負担が大きいなどの理由から、引き続き20歳になる方を対象に「二十歳の集い」を開催することとしました。

### ■日時

令和5年1月8日⑩午前10時30分から

### ■会場

多目的研修集会施設 大ホール  
(小野町大字小野新町字中通2)

### ■対象

- ・平成14年4月2日から平成15年4月1日生まれの方
- ・町内にお住まいの方、または出身の方
- ・町外にお住まいの方で小野中学校を卒業した方

### ■その他

- ・町内に住民登録をしている方(9月1日現在)には、10月中にご案内をお送りする予定です。
- ・町外に転出した方には転出先の住所にお送りします。(複数回転居した方には案内が届かない場合があります)
- ・案内が届かない方で出席を希望する方は、公民館までお問い合わせください。

⑩公民館 ☎72-2125



昨年の成人式の様子



# 子どもが主張できる場所を

小野町立小野中学校 3年 黒田<sup>あやみ</sup>彩未 さん

皆が生きやすい社会を作るには、どうする必要があるでしょうか。不平等をなくすことや、環境を改善することなど、するべきことはたくさんあります。その中でも私が特に大切だと思うのは、誰もが自由に主張できる場所を作ることです。

「誰もが」ということは、大人だけでなく小さな子どもにも主張する機会を与えたいということです。皆が納得して物事を決めるためには、私は子どもの意見にも耳を傾ける必要があると思います。

私がこのように考えたきっかけは、国語の授業で小学生のスポーツの全国大会の廃止について作文を書いたことです。今年、小学生の柔道の全国大会が廃止されました。過度な減量と極端な勝利至上主義に疑問の声が上がったことが背景にあります。そのことについて、賛成か反対かの立場で意見を書くことになりました。

私は、全国大会の廃止に賛成の立場でした。成長期の子どもたちに減量やきつい練習をさせ、時に罵声を浴びせてまで勝たせることに価値はあるのかと思ったからです。あくまでスポーツは楽しむもので、勝った

めだけに試合のマナーを破ったり、子どもを不幸にさせたりする必要はないと思います。

しかし、今まで行ってきた大会を急に廃止してよかったです。子どもたちのためには、果敢に子どもたちのための大会廃止だったことはよく分かりますが、果たして本当に子どもたちのためになつていたのででしょうか。きっかけは勝利至上主義が過熱したことですが、勝利にこだわっていたのは子どもたちでしょうか。こだわっていたのは指導者や保護者だと思います。大人は勝利に対する思いが強すぎて、子どもたちにつらい思いをさせて、ついには全国大会の廃止という、一番つらい結果につながってしまいました。

どうすればよかったですか。例えばルールを設けることが解決策の一つです。指導者は協会が定める資格を持つ者に限定する。大会で罵声を浴びせる者のための罰則を設ける。こうした対策をすれば、練習のあり方や大会の様子も変わってくるのではないのでしょうか。それでも守れない人が出た場合、そのときに改めて大会を廃止すればよいのではないか、それが子どもの思いに寄

り添うということではないかと思いました。

子どもたちが不幸にならないためにも、極端な勝利至上主義に走った大会を実施するべきではありません。しかし、全国大会に向けて頑張ってきた子どもたちの目標を急に奪うのはかわいそうです。急に廃止するのではなく、まずは子どもを第一に対策を取ることが大切なのではないかと思いました。

このような文章を書きながら、私は大人たちだけで物事を進めることの身勝手さに気づきました。子どもたちのためにやったことが、実は子どもたちのためになつていなかったという事は、今までにもたくさんあったのだらうと思います。子どもたちが関わることなのだから、まずは子どもたちの意見を尊重することが大切だと気づきました。そして、その意見を自由に言える環境を整えることが何より大切なのではないかと思いました。

よりよい社会を作っていくために、私たちは建設的な意見をたくさん言い続ける必要があります。また、たくさんの、自分とは異なる意見をしっかりと聞く必要があります。

す。そのときに、子どもたちが考えた意見を主張できる場所があり、大人たちが真剣に子どもたちの意見に耳を傾ける環境になってほしいです。そうすれば、どんな出来事が起きたとしても、大人も子どもも皆が納得できる解決策が見つかるに違いありません。それが、誰もが生きやすい、よりよい社会の発展へとつながっていくのだらうと思います。



表彰式の様子